

## 防災シンポジウム「集客施設における帰宅困難者対策」のご案内

東京都による首都直下地震の被害想定では、地震により生じる「行き場のない人」(帰宅困難者)が都内で約92万人とされており、また、2020年に開催される東京オリンピックでは、1日当たりの会場来場者数が最大で92万人との予想もされています。もし、オリンピック開催中に大地震が発生した場合、どのように帰宅困難者対策に取り組みばよいのでしょうか?そこで、今回は集客施設での帰宅困難者対策に焦点をあて、自助・共助・公助の連携のあり方を考えます。そのため、帰宅困難者問題専門の有識者、集客施設、先進事例である新宿駅周辺地区の取組などを参考に、今後の帰宅困難者対策の方向性を議論するためのシンポジウムを開催することに致しました。

ご多用中とは存じますが是非とも多数ご参加下さいますよう、ご案内申し上げます。

◆ **日時** 平成28年1月15日(金) 14時~16時

◆ **場所** 緑と水の市民カレッジ3階

東京都千代田区日比谷公園 1-5 日比谷公園内

◆ **参加費** 無料 先着100名様(要申込 別紙参加申込書)

◆ **プログラム**

1. 主催者挨拶 中島 宏(公益財団法人都市防災美化協会理事長)

2. パネルディスカッション

(1) コーディネーターより開題(10分)

○「帰宅困難者対策の現状と課題(問題提起)」・吉川忠寛(防災都市計画研究所長)

(2) 活動・課題の発表(30分)

①「帰宅困難者を取りまく状況と自助対策」・名古屋大学 廣井悠准教授

②「集客施設の安全性、利用者の安全対策(仮)」・東京大学 川口健一教授

③「沿道コミュニティによる徒歩帰宅者支援の取組」・国道15号線徒歩帰宅者支援対策協議会・品川区

④「新宿駅周辺における帰宅困難者対策」・工学院大学 村上正浩准教授

(3) 意見交換(45分)

○登壇者とコーディネーターが、これまでの帰宅困難者に関する対策、今後の対策の方向性について意見交換を実施。

(4) コーディネーターによるまとめ(5分)

集客施設をめぐる防災課題、関係者間の連携方策の方向性など

3. 閉会挨拶 吉川忠寛(防災都市計画研究所長)

(\*)公益財団法人都市防災美化協会、株式会社防災都市計画研究所「帰宅困難者対策の連携強化に関する調査研究—東日本大震災の検証結果を踏まえて—」平成27年

上記調査・研究の刊行物を先着50名様に無料進呈致します。

◆ **主催** 公益財団法人都市防災美化協会、株式会社防災都市計画研究所

◆ **後援** (公財)東京都公園協会(交渉中)、工学院大学(交渉中)

(一社)東京都造園緑化業協会(交渉中)、その他交渉中

問合せ先

(株)防災都市計画研究所 TEL(03-3262-6376) Fax(03-3263-7053) Mail:kiyota@lusp.co.jp 清田修

(公財)都市防災美化協会 TEL/Fax(03-5202-2011) Mail:bo-bikajimu@cosmos.ocn.ne.jp 和田幸子

# 防災シンポジウム 「集客施設における帰宅困難者対策」

## 参加申込書

平成 年 月 日

|   | 氏名 | 所属・社名 | e-mail |
|---|----|-------|--------|
| 1 |    |       |        |
| 2 |    |       |        |
| 3 |    |       |        |
| 4 |    |       |        |
| 5 |    |       |        |

下記に申し込みいたします。

防災シンポジウム「集客施設における帰宅困難者対策」  
日時 平成28年1月15日(金) 14:00(13:40受付開始)～  
場所 東京都千代田区 緑と水の市民カレッジ3階(日比谷公園内)

(お問い合わせ先)

株式会社 防災都市計画研究所 清田修  
〒102-0076 千東京都千代田区五番町12ドミール五番町2-032  
TEL:03-3262-6376 FAX:03-3263-7053  
mail(参加申込票送信先): [kiyota@lusp.co.jp](mailto:kiyota@lusp.co.jp)

公益財団法人都市防災美化協会 和田幸子  
〒104-0031 東京都中央区京橋1-2-1大和八重洲ビル  
TEL/FAX: 03-5202-2011 mail: [bo-bikajimu@cosmos.ocn.ne.jp](mailto:bo-bikajimu@cosmos.ocn.ne.jp)

(日比谷公園内)緑と水の市民カレッジの位置

